



真盛園運営方針

1. 人間平等の原則の上で立つての福祉の増進
2. 宗教的雰囲気の中で心の安らぎ
3. 恵まれた自然環境の下での健康維持

我が国は、江戸時代以後、明治、大正、昭和と歴史と共に日本の人口は増え続けてきました。平成に入り、高齢化社会となり更に、少子高齢化社会が進み、今日では超少子高齢化社会となりました。「超」が冠につき現在1億2千万人の人口が2060年には8千6百万人とも予測されています。人口が増え続けた日本は経済・産業の発展・教育の向上、社会保障・福祉の充実した社会となったのは事実であります。しかし、高齢者人口の増加と働き盛りの現役世代の減少は、日本国の未来の行く末を案じずにはいられません。国においては増え続ける社会保障費の抑制どころか概算要求100兆円の中には、社会保障費の大半を占める年金・医療・介護が影響しているとも言われています。超少子高齢化社会を迎えるに当たり安心・安全な国づくりのなかに最も大事なものは、福祉の充実であります。高齢者は住み慣れた地域で最後の生活を営みたいと思っっている方々が大半だと思います。未来の展望はどうなりますでしょうか。

我、天台真盛宗本山西教寺は戦後の混乱期からまだ福祉、教育等制度が確立していません。昭和20年に西教寺専門学寮が閉校となった校舎を昭和22年に、新制中学、坂本村立中学校に土地校舎を無償貸与。地元中学校に貢献して参りました。現在の天津市立日吉中学校であります。本年8月に創立70周年を迎



社会福祉法人真盛園
理事長 喚阿 宏道
(天台真盛宗務総長)

今日の社会情勢を見る

え、盛大に記念式典が挙行されたと聞いております。その後、昭和26年9月に空校舎になった教室等を利用して生活困窮者施設、天津市立真盛養老院として高齢者福祉に協力して参りました。その後、社会福祉法人真盛園を設立、本年66周年になります。

西教寺の宗祖真盛上人のお言葉の中に「無欲清浄」。その中には人間の最も大切な慈悲の心が含まれています。今日でも西教寺では連綿と続いていきます。超少子高齢化社会をどのように乗り切っていくか、将来の事を考えながら「福祉は慈善事業から出発したこと」を忘れずに幸せな社会福祉の充実を思う次第です。

平成28年度 第1回評議員選任・解任委員会

社会福祉法人改正に伴い評議員選任・解任委員会を平成29年3月3日(金) 真盛園会議室で開催。去る平成29年2月13日(月)に理事会より推薦された評議員候補者を提案いずれも原案通り評議員に選任決定された。

- ①地域住民代表
 - 中野 治郎 大津市議会議員
 - 大窪 功真 坂本学区社会福祉協議会 事務局長
 - 田村 一美 坂本学区地域女性会 会長
 - 杉本 晋一 下坂本学区社会福祉協議会 会長
- ②福祉関係者
 - 須藤 ゆき 民生委員児童委員
 - 中西 耕司 日吉台学区老人クラブ連合会 会長
 - 小島 明美 地域ボランティア
 - 石川富士男 真盛園施設利用者家族代表
- ③学識経験者
 - 井上 俊生 元大津市副市長
 - 大友 隆法 元守山市民会館館長

- 理事 喚阿 宏道
- 理事 前阪 良憲
- 理事 大野 哲
- 理事 松室 一成
- 理事 福永 昌善
- 理事 枝 久夫
- 理事 山本 純裕
- 理事 円水 成行
- 監事 辻 喜美子

平成29年度 第2回役員(理事・監事)会

平成29年6月26日(月) 真盛園会議室で開催。去る平成29年6月22日(木)に定時評議員会にて選任された理事より理事長に喚阿宏道氏を選任。常務理事に前阪良憲を選任。

- 理事長 喚阿 宏道
- 常務理事 前阪 良憲



平成28年度 収支決算

法人単位 借借対照表 第3号第1様式
平成29年 3月31日現在 (単位:円)

法人名	資産の部		増減	負債の部		増減	
	当年度末	前年度末		当年度末	前年度末		
流動資産	321,419,025	326,621,539	△ 5,202,514	流動負債	29,533,245	24,842,683	4,690,562
現金当座	196,486,224	191,494,899	4,991,325	短期借入金	0	0	0
有価証券	0	0	0	借入金	18,867,487	16,060,278	2,807,209
事業未収金	124,914,968	134,655,687	△ 9,740,719	その他の未払金	0	0	0
未収金	0	0	0	支払手形	0	0	0
未収補助金	0	0	0	役員等短期借入金	0	0	0
未収収益	0	0	0	長期借入金	5,830,000	5,830,000	0
受取手形	0	0	0	長期未払金	0	0	0
貯蔵品	0	0	0	長期未払金	2,538,000	0	2,538,000
固定資産	0	0	0	長期未払金	0	0	0
建物・構築物等	0	0	0	長期未払金	0	0	0
固定負債	17,833	24,354	△ 6,521	預り金	22,360	13,500	8,860
借入金	0	42,120	△ 42,120	職員預り金	2,275,498	2,428,291	△ 152,793
前払費用	0	0	0	前払金	0	0	0
長期前払費用	0	0	0	前払金	0	0	0
長期貸付金	0	0	0	貸付金	0	0	0
固定資産	0	404,519	△ 404,519	長期前払金	510,614	510,614	0
固定負債	0	0	0	長期前払金	0	0	0
その他の流動資産	0	0	0	長期前払金	0	0	0
徴収不能引当金	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
固定資産	621,243,481	637,471,330	△ 16,227,849	固定負債	83,410,198	77,854,502	5,555,696
基本財産	424,555,772	461,658,128	△ 37,102,356	設備資金借入金	17,300,000	23,130,000	△ 5,830,000
土地	0	0	0	長期借入金	0	0	0
建物	424,555,772	461,658,128	△ 37,102,356	長期借入金	15,651,000	0	15,651,000
構築物	0	0	0	長期借入金	0	0	0
固定資産	0	0	0	長期借入金	0	0	0
基本財産	0	0	0	長期借入金	0	0	0
基本財産	0	0	0	長期借入金	0	0	0
その他の固定資産	196,687,709	175,813,202	20,874,507	長期借入金	0	0	0
土地	0	0	0	長期借入金	0	0	0
建物	30,918,324	36,630,002	△ 5,711,678	長期借入金	0	0	0
構築物	667,727	683,629	△ 15,902	長期借入金	0	0	0
機械及び備品	0	0	0	長期借入金	0	0	0
事務用品	2,320,808	3,420,976	△ 1,100,168	長期借入金	0	0	0
器具及び備品	3,788,296	5,271,033	△ 1,482,737	長期借入金	0	0	0
建設仮勘定	10,281,206	4,968,000	5,313,206	長期借入金	0	0	0
有形リース資産	18,189,000	0	18,189,000	長期借入金	0	0	0
権利	0	0	0	長期借入金	0	0	0
ソフトウェア	73,150	113,050	△ 39,900	長期借入金	0	0	0
無形リース資産	0	0	0	長期借入金	0	0	0
投資有価証券	0	0	0	長期借入金	0	0	0
退職給付引当資産	50,459,198	54,724,502	△ 4,265,304	長期借入金	0	0	0
長期引当資産	0	0	0	長期借入金	0	0	0
加除償還等積立資産	80,000,000	70,000,000	10,000,000	長期借入金	0	0	0
()	0	0	0	長期借入金	0	0	0
借入金	0	0	0	長期借入金	0	0	0
長期借入金	0	0	0	長期借入金	0	0	0
繰上返済金	0	0	0	長期借入金	0	0	0
繰上返済金	0	0	0	長期借入金	0	0	0
繰上返済金	0	0	0	長期借入金	0	0	0
その他の固定負債	0	0	0	長期借入金	0	0	0
資産の部合計	942,662,505	964,092,869	△ 21,430,363	負債の部合計	829,718,963	861,395,684	△ 31,676,721
純資産の部合計	112,943,542	102,697,185	10,246,358	純資産の部合計	112,943,542	102,697,185	10,246,358
純資産の部合計	942,662,505	964,092,869	△ 21,430,363	純資産の部合計	942,662,505	964,092,869	△ 21,430,363

法人単位 資金収支計算書 第1号第1様式
(自)平成28年 4月1日 (至)平成29年 3月31日 (単位:円)

法人名	資金収支		増減
	当年度末	前年度末	
事業活動による収支	830,270,000	827,741,407	2,528,593
収入	882,910,000	881,025,857	1,884,143
介護保険事業収入	124,240,000	123,878,446	361,554
老人福祉事業収入	10,110,000	9,949,933	160,067
医療事業収入	1,400,000	1,376,298	23,702
あつたかほ一む事業収入	1,810,000	1,626,000	184,000
借入金利息補助金収入	130,000	18,287	111,713
受取利息配当金収入	9,670,000	9,866,588	△ 196,588
その他の収入	0	0	0
繰上返済等による資金増加額	0	0	0
事業活動収入合計(1)	830,270,000	827,741,407	2,528,593
支出	605,740,000	603,962,543	1,777,457
人件費支出	149,210,000	145,489,784	3,720,216
事業費支出	63,750,000	61,876,128	1,873,872
事務費支出	850,000	801,926	48,074
利用者負担軽減額	970,000	964,652	5,348
支払利息支出	1,460,000	1,394,726	65,274
その他の支出	0	0	0
繰上返済等による資金減少額	0	0	0
事業活動支出合計(2)	829,900,000	814,489,761	7,490,239
事業活動資金収支差額(3=1-2)	8,370,000	15,251,646	△ 4,961,646
施設整備等による収支	0	0	0
施設整備等補助金収入	0	0	0
施設整備等寄附金収入	0	0	0
施設資金借入金収入	0	0	0
施設資金売却収入	0	0	0
引当金の施設整備等による収入	0	0	0
施設整備等収入合計(4)	0	0	0
支出	5,830,000	5,830,000	0
設備資金借入金元金償還支出	6,940,000	6,940,000	0
固定資産売却・廃棄支出	2,120,000	2,115,000	5,000
ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0
その他の施設整備等による支出	14,890,000	14,872,128	17,872
施設整備等支出合計(5)	14,890,000	14,872,128	17,872
施設整備等資金収支差額(6=4-5)	0	0	0
その他の活動による収支	0	0	0
収入	0	0	0
長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0
長期運営資金借入金収入	0	0	0
長期貸付金回収収入	0	0	0
投資有価証券売却収入	9,140,000	9,123,504	16,496
積立資産売却収入	0	0	0
その他の活動による収入	0	0	0
その他の活動収入合計(7)	9,140,000	9,123,504	16,496
支出	0	0	0
長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0
長期貸付金支出	0	0	0
投資有価証券取得支出	14,890,000	14,858,200	31,800
積立資産支出	0	0	0
その他の活動による支出	0	0	0
その他の活動支出合計(8)	14,890,000	14,858,200	31,800
その他の活動資金収支差額(9=7-8)	9,140,000	9,123,504	16,496
前期資金収支差額合計(10=3+6+9)	21,900,000	7,355,176	14,544,824
前期未支払資金残高(12)	21,900,000	307,608,858	285,708,858
当期末未支払資金残高(11+12)	0	300,253,680	300,253,680

平成28年度 真盛園後援会決算報告

収入	支出	繰上返済	合計
個人収入 53件 171,000円	個人収入 39件 315,000円	0円	10,000円
法人収入 3件 315,000円	法人収入 4件 400,000円	0円	49,000円
雑収入 10,000円	雑収入 10,000円	0円	0円
合計 536,000円	合計 730,000円	0円	234,000円

本年度も敬老の日がやってきました。以前は9月15日が敬老の祝日でした。今年は9月18日です。祝日の制度が変わってからは毎年3週目の土日に合わせて敬老の日が決められています。老人福祉法が定めた「老人の日」は、9月15日となっています。成人の日の1月15日、こどもの日は5月5日、敬老の日は9月15日、そして11月23日は勤労感謝の日と決まっています。私は人間の尊厳を敬う祝日として、そして日本を今日まで支えてこられた高齢者の敬老の日は、やはり9月15日に決めてはどうかと思ひます。こども、成人、敬老、勤労感謝どれも人間として大事な記念日でもあります。こどもの日のように成人の日は1月15日、敬老の日は9月15日の祝日として決められた方がよいと思うからです。私1人の考えでしょうか。

真盛園で今年100歳を迎える方々が5名おられます。100歳以上が6名になりました。101歳になられたUさんはご自分で何もかも出来ます。杖なしで歩いておられます。

前阪 良憲

編集後記 「敬老月間に思う」

本年度も敬老の日がやってきました。以前は9月15日が敬老の祝日でした。今年は9月18日です。祝日の制度が変わってからは毎年3週目の土日に合わせて敬老の日が決められています。老人福祉法が定めた「老人の日」は、9月15日となっています。成人の日の1月15日、こどもの日は5月5日、敬老の日は9月15日、そして11月23日は勤労感謝の日と決まっています。私は人間の尊厳を敬う祝日として、そして日本を今日まで支えてこられた高齢者の敬老の日は、やはり9月15日に決めてはどうかと思ひます。こども、成人、敬老、勤労感謝どれも人間として大事な記念日でもあります。こどもの日のように成人の日は1月15日、敬老の日は9月15日の祝日として決められた方がよいと思うからです。私1人の考えでしょうか。



真盛園に帰ってきてから、お土産の品を見せて下さったり、そのお土産を嬉しそうに身に付けてくれたりと楽しい雰囲気は続いています。



「大秦映画村」

冬が終わり春も過ぎかけた頃、5月29日(月)、6月5日(月)と映画村へ遠足に行きました。久しぶりの遠足という事もあり、前日から「明日映画村に行くんや。」と何度も言われる利用者様もおられたり、皆様楽しみにしておられた様子でした。



気になる当日の天気は、両日とも快晴。少し暑いくらいでしたが、絶好の遠足日和となりました。時代劇のような建物や景色、役者さんなど、いつもと違う雰囲気、笑顔も多く、少し現実離れた体験を楽しんでもらえたようです。お出かけ先で食べるお昼ご飯も格別で、皆様喜んで頂けた様子でした。

真盛園に帰ってきてから、お土産の品を見せて下さったり、そのお土産を嬉しそうに身に付けてくれたりと楽しい雰囲気は続いています。

納涼祭



国会議員の先生方も激励に来園されました



大岡敏孝衆議院議員



二之湯武史参議院議員



こやり隆史参議院議員



中野治郎市議会議員
佐藤健司県議会議員



職員による太鼓

江州音頭

8月9日、今年度の納涼祭は台風が心配されていましたが、天候に恵まれ、盛大に開催することが出来ました。谷自治連連合会長を始め各種団体の皆様がお越し頂きました。前阪園長の挨拶の後、大岡敏孝衆議院議員、二之湯武史参議院議員、こやり隆史参議院議員、佐藤健司県議会議員、中野治郎市議会議員よりお祝いの挨拶と激励の言葉を頂き、いよいよ納涼祭のスタートです!!

今年度は「バルーンアート」「養護の利用者さんによる踊り」「職員の太鼓クラブによる和太鼓の演奏」そしてみんなで参加する「江州音頭」と様々な催しを行いました。最後は、恒例の花火で締めくくり、今年も盛大な花火で、みんなの歓声があがり、素敵な時間を過ごすことができました。

小さなお子さんたくさん来ていただき、利用者さんの顔もほころびました。多くのボランティアの方々や地域の方々に支えられ地域交流ができた大変有意義な時間を過ごすことができました。

これからも、地域に根ざした交流活動を皆さんの御協力を得て続けていきたいと思っております。



善護老人ホーム 春の餅づくり



5月31日、夏のような日差しのもと、養護老人ホームで「餅つき大会」が開催されました。利用者さんたちも力自慢の男性の方々が「よいしょよいしょ」のかけ声に合わせて餅をついていきます。女性の利用者さんもお手伝い力いっぱいついて下さいました。餅がつきあがるとあんこやきな粉をたっぷりつけていただきました。利用者さんからは「昔はよくやったなあ。」「美味しいなあ。」「もつと食べたいなあ。」「またやりたいなあ。」など素敵な笑顔があふれていました。

夏は園内の催しがたくさんありますが、夏の暑さに負けないように元気に過ごしていきます。



流しソーメン

7月7日の七夕には毎年恒例の流しソーメンが開催されました。梅雨の明けきらぬ中、当日の天気はくもり。雨が心配されましたがなんと降らずに持ちこたえました。

竹に流した水にソーメンが流れてくると、皆さん夢中になってすくっておられました。ソーメンがうまくすくえず最初は四苦八苦されていましたが、徐々に慣れてこられたのが上手になってきた方が多かったです。ソーメンをつると食べるのどごしが良く「おいしい」という声が上がりました。中には何度もおかわりをする方もいて流す職員も忙しそうでした。ソーメンの他にきき揚げ、茄子、人参、さつまいもの天ぷら、おにぎりそしてスイカを召し上がっていただきました。

会場の横に置かれた笹には短冊がつけられ、「腰痛がなおりますように」等それぞれの利用者さんの願いがこめられていました。



今回も大盛況のうち、夏の風情を楽しんでいただきました。



真盛園 大運動会



6月15日(木)、初夏の澄み渡る晴天の下、毎年恒例となっている大運動会が真盛園前庭駐車場にて開催されました。午前の部は、玉入れ、借り物競走、パン食い競走を行いました。途中で、休憩で家族会より頂いたアイスクリームを食べて利用者さんは大変喜んでおられました。そして、昼食では、皆さんに人気のあるカレーライスを食べて休憩をはさみ午後の部は、ボール送り、パン食い競走、玉入れが行われました。

利用者の皆さんがとても楽しんで、熱心に一生懸命になって競技や応援に集中されていました。普段屋内で過ごされていることが多く、屋外で身体を動かす機会が少ないため、1年のうちで過ごしやすい季節を選んで、多くの利用者の方々に参加して頂き、とても有意義な体験をして頂けたと思います。

優勝は養護・デイサービスチーム。準優勝は、特養・良の家(小規模多機能)チームという結果に終わりました。





100歳になられた方5名 88歳になられた方6名

敬老祝賀会

おめでとうございます

西教寺より敬老祝金贈呈

9月は敬老月間ということで、9月19日に敬老祝賀会を開催しました。100歳になられた方5名には安倍総理大臣より感謝状と銀杯、三日月滋賀県知事、越前県知事より感謝状を頂き、88歳になられた方6名には越前市長より感謝状を頂き、真盛園からは11名の方に記念品を贈呈しました。

総本山西教寺宗務総長阿宏道氏（真盛園理事長）より「おめでとうございます。これからもお元気に生活してください。」とお祝いの言葉をいただき参加された利用者さんから大きな拍手があがっていました。11名を代表して養護利用者さんが謝辞を述べられ、和やかな雰囲気の中、式典は終わりました。第2部では新人職員たちによるパフォーマンスが行われ利用者さんたちは大変喜んでおられました。

長生きの秘訣はいろいろあると思いますが、利用者さんを見てみると『自分らしく生きる』事が一番の秘訣ではないかと思えます。毎年、真盛園の敬老祝賀会におきまして西教寺様、坂本学区社会福祉協議会様より寄付金を頂き感謝申し上げます。利用者さんの為に有効に活用させて頂きます。



職員によるパフォーマンス



養護利用者さんより謝辞

「地域交流活動の『紹介』」

県内100歳以上692人

昨年より55人増 男性77人 女性615人

15日は老人福祉法が定める「老人の日」。県内の100歳以上の高齢者は男女合わせて692人で、昨年(637人)よりも55人増えたことが、県のまとめでわかった。統計が残る1984年以降では過去最多。

県医療福祉推進課は1日「県内の高齢者が男性77人、女性615人の計692人。2007年は268人、2008年は275人と発表された」と発表した。統計を取り始めて、わずか10年で約2.5

倍に増えたことになる。同課は「100歳以上がさほど珍しくない時代に入ったことを、データでも実感した」としている。

県内最高齢は、1905(明治38)年に生まれた111歳の彦根市の北川みなさん。夏目漱石が雑誌「ホトギス」に小説「吾輩は猫である」を連載し始めた年。これに次ぐのは111歳の甲賀市の植村ミサヲさん。北川さんの4日後に生



かわいい歌声 お年寄り笑顔

大津・坂本幼稚園児 長寿祝い

大津市の坂本幼稚園の園児約30人が15日、近くの老人福祉施設「真盛園」を訪れ、お年寄りたちの前で歌ったりプレゼントを贈ったりして長寿を祝った。ピアノの伴奏にお年寄りが手拍子する中、園児たちは「幸せなら手をたたこう」など2曲を披露。丸く切った画用紙に園児たちが似顔絵を描いて、お年寄りの首にかけていった。その後、お年寄りと一緒に歌に合わせて手遊びし、「いつまでも元気でいてね」と声をかけた。参加した高野明子さん(92)は「とてもかわいくて、交流ができてうれしい。一緒にいると、若返った気持ちになりました」と笑顔で喜んでた。(北川サイラ)

坂本幼稚園・坂本小学校の皆さんから
嬉しい贈り物をいただきました!!

まれた。いずれも女性だ。男性の県内最高齢は、高島市の白井次郎さん(107)。次いで大津市の佐々木吉春さん(105)。(岡本洋太郎)

坂本小(大津市坂本3丁目)の3、4年146人が育ててきた、人権の花「サルビア」が8日、高齢者福祉施設「真盛園」(同市坂本5丁目)に贈られた。サルビアは、多くの花びらが仲良く寄り添い咲くため、大津地方法務局と県人権擁護委員連合会が「人権の花」に指定している。今年、県内の51小学校が栽培して命の大切さを学ぶ運動に参加している。

2017年(平成29年)9月9日 京都新聞掲載



サルビア命の花咲く

大津・坂本小 高齢者施設に贈呈

ちが水やりなどをして約50鉢を育ててきた。残りの鉢は、坂本支所や坂本観光協会などの



花が咲いたサルビアのプランターを贈る坂本小の児童ら(大津市坂本5丁目・高齢者福祉施設「真盛園」)

文関に置いてもらう。4年笠巻咲良さん(9)は「命の大切さや協力することを学び、8月に花が咲いたときはうれしかった」と話していた。(糸井則次)

2017年(平成29年)9月14日 中日新聞掲載

育てたサルビア贈ったよ

大津・坂本小生 社会福祉法人に



サルビアを贈呈する児童ら(大津市坂本5の真盛園で)

坂本小学校(大津市坂本3)の児童が育てたサルビアが社会福祉法人真盛園(同市坂本5)に寄贈された。人権擁護委員による「人権の花運動」の一環。サルビアは、赤い花びらが寄り添うように咲くことから、県の「人権の花」に指定されている。種まきから水やりなどの栽培を通して、命の大切さを知り、思いやりの心を育ててもらおう狙いがあるという。

坂本小学校(大津市坂本3)の児童が育てたサルビアが社会福祉法人真盛園(同市坂本5)に寄贈された。サルビアを受け取った真盛園の前阪良憲総合園長は「温かい気持ちになりました」と応えた。(市川勲太郎)

人権擁護委員による「人権の花運動」